

除雪ステーションで「家族参観日」開催

維持工事関係者の家族を対象とした「家族参観日」を管内の除雪ステーションで開催しました。冬期間、交代で夜間や早朝の除雪作業を行っているオペレーターさんの頼もしい姿を見てもらい、家族の皆さんの理解と協力を深めてもらおうと企画しました。

平成22年3月6日（土）は、国道113号南陽市梨郷にある”南陽除雪ステーション”に15家族約60名の方に来ていただきました。同ステーションには、除雪トラックや除雪グレーダーなど13台の除雪機械が配備され、国道13号南陽バイパスと国道113号(赤湯バイパス含む)の計29.9kmを21人のオペレーターさんが24時間交替で除雪作業を行っています。

巨大な除雪機械に触れたり、運転席に体験乗車したりと子ども達は大はしゃぎでした！



除雪機械格納庫の様子



機械の大きさを体感！！



パネル展示



☆記念撮影☆

☆ご意見お問い合わせは

国土交通省 山形河川国道事務所
米沢国道維持出張所

〒992-0011 米沢市中田町260-2
TEL 0238-37-5300



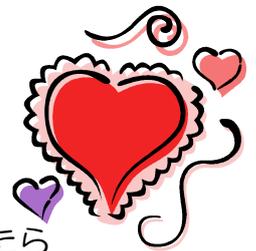
～義（ぎ）を見てせざるは勇（ゆう）無きなり～

「愛」の一秒 実施中

昨年のNHKの大河ドラマ「天地人」の主人公、直江兼続は、初代米沢藩主の上杉景勝に仕え、現在の米沢市街地の礎を築きました。彼の兜には、「愛」の文字が掲げられ、戦国時代にありながら、「愛民」、「義」（正しいと思う行い）の精神を貫いた知将として有名です。

天地人ではありませんが、米沢市に所在する当出張所では「愛」の一秒を実施中です。

右折する車がいっても直進車がとぎれず、後ろが渋滞することがあります。そんなとき、ほんの一秒待ってあげれば対向車線の渋滞は減ります。また、横断歩道でも立っている人に気づいていながら止まらない人が多いようです。



ちょっとしたことですが、義（運転者としてやらねばならぬこと）を見かけたら勇氣(愛)を持って「パッシング」や合図を送りましょう！横断歩道手前でブレーキをかけても、そんなに着く時間は変わりません。

山形路いつも心に思いやり

県民一人ひとりが交通事故の危険性を十分認識し、交通ルールの遵守と交通マナーアップの実践を推進することにより交通事故を防止し、安全で安心して暮らせる交通社会の実現を目指すものとする。

主唱：山形県交通安全対策協議会＜春の交通安全県民運動実施要綱より＞

(財)山形県交通安全協会 www.ankyo-yamagata.or.jp/

4/6(火)～4/15(木) 春の交通安全県民運動が開催されます。

春はほかほか陽気のせいか交通事故が増える季節です。

お出かけは、時間にゆとりを持ち、心には思いやり(愛)を持った運転を心掛けたいものです。

「愛」の一秒 あなたも参加してみませんか？